

整理No.		2017-25	労働災害状況調査表			
発生会社 事業所						
災害発生日時		2016年 8月 23日(火) 16時30分 天候(晴れ) 温度(32℃)湿度(%)				
災害区分		<input checked="" type="radio"/> 不休災害 <input type="radio"/> 休業災害 (休業: 日)				
被災者	部門	生産部門		雇用形態 <input checked="" type="radio"/> 正社員、派遣、契約、その他(パート)		
	年齢	19歳	性別: <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	勤続年数 4ヶ月	経験年数 4ヶ月	
	傷病名	切創				
	傷病部位	右肘				
災害発生状況	原料の仕込み作業を行った際に、最初の石油缶の天板を3/4切り、全量投入した。次の石油缶の投入準備を行うため天板を切ろうとしたところ、最初に開けた石油缶のフタが半開きになっており、その先端に右肘が接触したため右肘内側を切創した(4針縫合)。		状況概略(写真orイラスト)  1缶目の○部分に右肘が接触して切創			
	災害の型 ^{※1)}	6. 切れ、こすれ		作業の形態: <input checked="" type="radio"/> 定常、非定常、その他()		
	起因物: 天切缶の天板	特記事項				
原因分類	1. 人的要因(man): 当該作業の危険性の認識不足					
	2. 物に関する要因(machine): 夏場で半袖作業であり、適切な保護具(腕カバー)を着装していなかった。					
	3. 環境要因(media)					
	4. 管理的要因(management): 「石油缶天切り作業取扱い手順書」が遵守できていなかった。					
対策	①保護具(腕カバー)着装を遵守する。					
	②固形原料(当該原料)投入時は天切り3/4を禁止し、裏面全てを天切する。 (フタ部からの投入では作業困難な場合)					
対策分類 ^{※2)} : 1-3, 1-6						

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)